

# 大阪広域データ連携基盤ORDENでめざす 未来社会の先行実現

---

大阪府スマートシティ戦略部

\* ORDEN（オルデン）とは・・・『Osaka Regional Data Exchange Network』の頭文字

# 目 次

0．ORDENとは

1．ORDEN活用事例

1 (1). ODPO (Open Data Platform in OSAKA)

1 (2). mydoor OSAKA (マイド・ア・おおさか)

1 (3). モビリティ

2．ガバナンス

3．広域共有化

大阪のスーパーシティ構想のテーマは「データで広げる“健康といのち”」。  
2つのグリーンフィールドで3つのプロジェクトを展開、大阪全体へ広げていく。

### データで広げる“健康といのち”

#### 2023年度～ 夢洲コンストラクション

3つの円滑化を推進

1. 建設工事現場内外の移動
2. 建設工事及び資材運搬
3. 建設作業員の安全・健康管理



#### 2024年度～ うめきた2期

中核機能のテーマ  
ライフデザイン・イノベーション



イメージベース（提供：うめきた2期地区開発事業者）

#### 2025年度 大阪・関西万博

テーマ  
いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ  
Saving Lives（いのちを救う）  
Empowering Lives（いのちに力を与える）  
Connecting Lives（いのちをつなぐ）



提供：2025年日本国際博覧会協会



2つのグリーンフィールド

- ・夢洲
- ・うめきた2期

住民QoLの向上と  
都市競争力の強化を  
めざす

輝く未来社会

スーパーシティの  
データ連携基盤として  
日本におけるデータ駆動型  
スマートシティを牽引

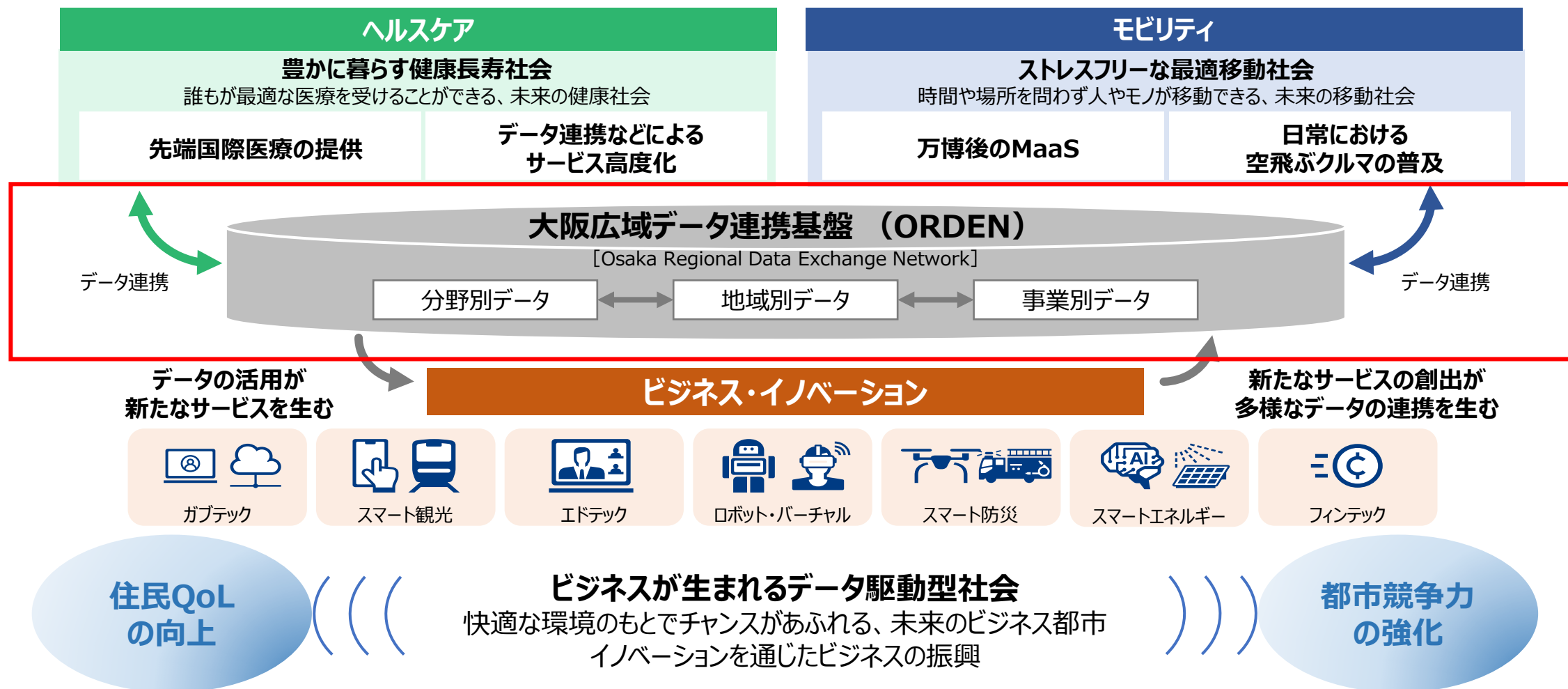
大阪広域データ連携基盤  
(ORDEN\*)

\* ORDEN（オルデン）とは・・・  
『Osaka Regional Data Exchange Network』の頭文字

超スマート社会が到来する中、IoTやビッグデータなどの活用により、創薬や医療機器開発などの分野にとどまらず、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスを創出

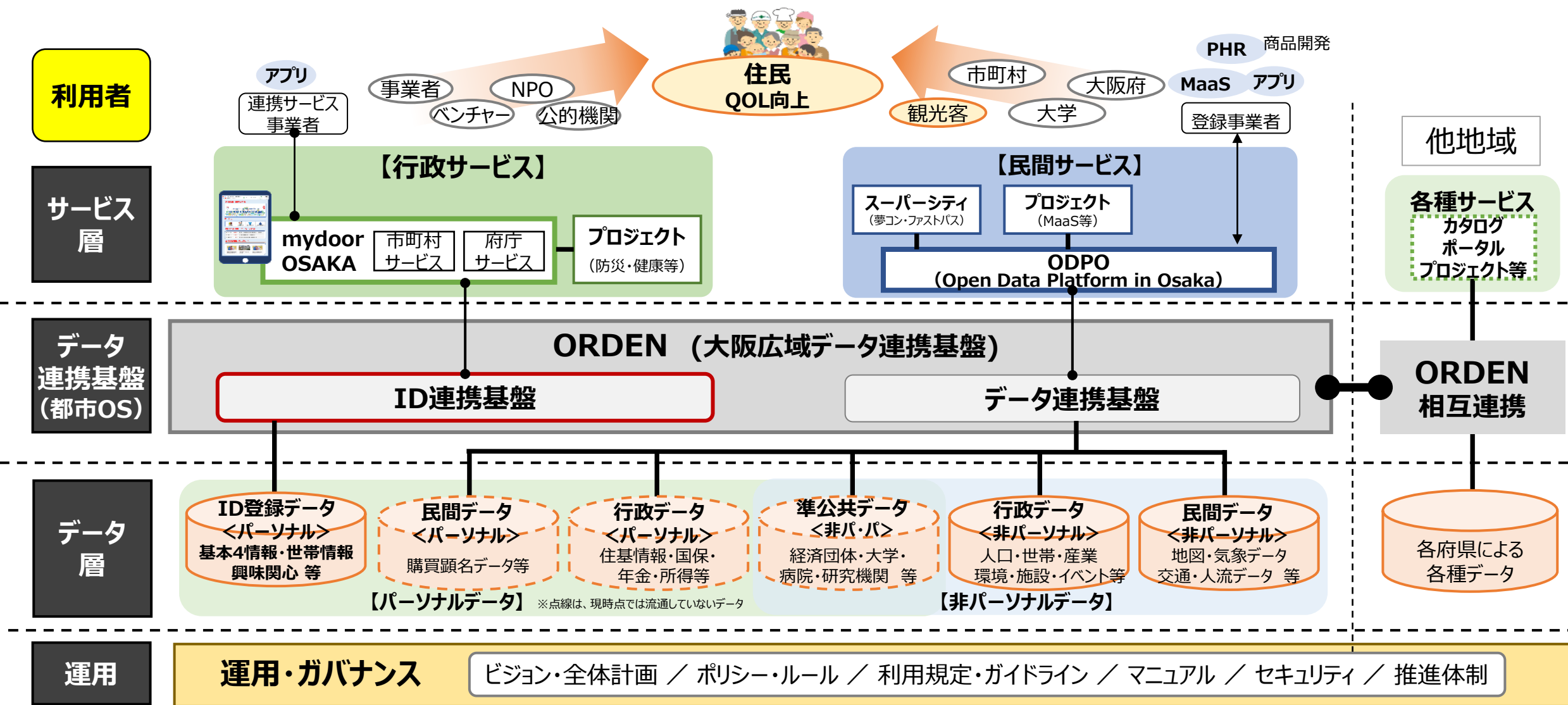
## 住民一人ひとりの生活の質が向上し、都市が成長し続ける大阪

- 夢洲及びうめきた 2 期において先端的サービスの実証や実装を進め、また大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を活用した様々なデータ連携を推進することで、次々とビジネスが生まれるデータ駆動型社会が実現し、ひいては住民QoLの向上と都市競争力の強化につながっていく。



# 0. ORDENとは

## データ駆動型スマートシティ ORDEN構想の全体像



- ◆ ODPOは、アプリケーション上にデータ概要を表すカタログを作成し、データを紐づけて利用希望者にデータを連携
- ◆ カatalogは視認性の高い表紙とデータ概要の詳細を記載したメタデータで構成し、カatalogに提供したいデータを紐づけ

### カatalog一覧

適用中の検索条件:

検索条件 >

表示順: メタデータ更新日 (新しい→古い) ?

静的情報

OTHER  
限定公開

施設一覧 (key valueテスト)

タグ登録なし

未開示

カatalog開示要求 +

カatalog作成日: 2024/03/11  
メタデータ更新日: 2024/03/18  
データ更新日:

ファイル/リンク情報

MY DATA  
秘密

【提供者名】万博インフォメーションデータ  
万博のプレイベント等のデータです。

イベント

カatalog作成日: 2024/03/11  
メタデータ更新日: 2024/03/14  
データ更新日: 2024/03/15

ファイル/リンク情報

OTHER  
公開

【大阪府】データ登録ひな形  
※実際のご利用時はタイトルを  
【価格】 【概要】

公務  
その他

開示中

カatalog作成日: 2024/03/11  
メタデータ更新日: 2024/03/11  
データ更新日: 2024/03/22

## データプレビュー

| タイトル<br>(ファイル名)             | 種別   | 概要                                                                             | 登録日時                | 更新日時                |    |    |    |        |
|-----------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------|----|----|----|--------|
| データ登録ひな形<br>(データ登録ひな形.json) | file | 当ファイルを右の「ダウンロード」ボタンから保存し、カatalog作成画面の左上の「カatalogファイルをインポート」で選択いただくとひな形が転記できます。 | 2024-03-11T15:42:36 | 2024-04-04T17:14:27 | 削除 | 開示 | 更新 | ダウンロード |

## カatalog概要

|        |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| タイトル * | ? | 【〇〇株式会社】カatalog概要入力例                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 概要     | ? | 【価格】 ¥50,000<br>【概要】 カatalog概要の入力例です。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 収集方法   | ? | 【データ形式】 CSV、JSON                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 補足     | ? | <p>【問合せ先】<br/>〇〇部 山田 太郎<br/>06-1234-xxxx<br/>xxx@xxx.co.jp<br/>https://www...</p> <p>【提供までの流れ】<br/>① 上記問合せ先にご連絡<br/>② 提供データの仕様決定<br/>③ お見積もり<br/>④ 契約<br/>⑤ 提供</p> <p>【利用条件】<br/>再販、譲渡は不可。<br/>データ利用にあたり弊社と別途契約が必要です。</p> <p>【参考リンク先】<br/>https://www...</p> <p>【その他】<br/>〇〇〇〇〇〇〇〇</p> |
| 公開範囲   | ? | <input type="radio"/> 公開 <input checked="" type="radio"/> 限定公開 <input type="radio"/> 秘密                                                                                                                                                                                                |



- ◆ ODPOには、大阪府（行政）のデータと、民間のデータがバランスよく掲載されているのが特長
- ◆ 今後は、市町村（行政）のオープンデータデータや、民間のニーズが高いデータを積極的に掲載させていく予定。

## 掲載データ（予定含む）

| 区分 | No. | 登録者         | 提供データ                            | 活用方針  |
|----|-----|-------------|----------------------------------|-------|
| 行政 | 1   | 大阪府         | ・自治体標準オープンデータ／8セット（施設、イベント、文化財等） | 公開中   |
|    | 2   | 大阪府         | ・その他のオープンデータ／7セット（バリアフリー、環境データ等） | 公開中   |
| 民間 | 3   | TEAM EXPO   | ・万博インフォメーションデータ                  | 調整中   |
|    | 4   | 住友電気工業      | ・プローブカーデータ                       | 公開中   |
|    | 5   | SBIホールディングス | ・購買行動データ                         | 限定公開  |
|    | 6   | 大阪メトロ       | ・改札データ                           | 公開中   |
|    | 7   | Visa        | ・クレジット決済データ                      | 調整中   |
|    | 8   | 夢コン参加事業者*   | ・交通系データ                          | 一般非公開 |
|    | 9   | 夢コン参加事業者    | ・車両系データ                          | 一般非公開 |
|    | 10  | 夢コン参加事業者    | ・気象系データ                          | 一般非公開 |
|    | 11  | 夢コン参加事業者    | ・人流系データ                          | 一般非公開 |
|    | 12  | 夢コン参加事業者    | ・位置系データ                          | 一般非公開 |

\* 夢コン参加事業者・・・スーパーシティ事業の一つである「夢洲コンストラクション」に参加している事業者。  
当該データは、夢コン参加事業者間でのみ、データを流通している（一般非公開）

3) TEAM EXPO  
（万博イベントデータ）

## 7) VISA決済データ

※観光施策などに活用



▶ 決済データを活用したインバウンドの行動分析などにより、新たな施策へ反映する仕組みを検討

# 1 (2). mydoor OSAKA

## 広域行政総合ポータル『mydoor OSAKA（マイド・ア・おおさか）』

### コンセプト

- 1) 行政からサービスが届き、
- 2) オンラインで手続き完結し、
- 3) 一つの窓口で全て繋がる、  
“広域総合ポータル”

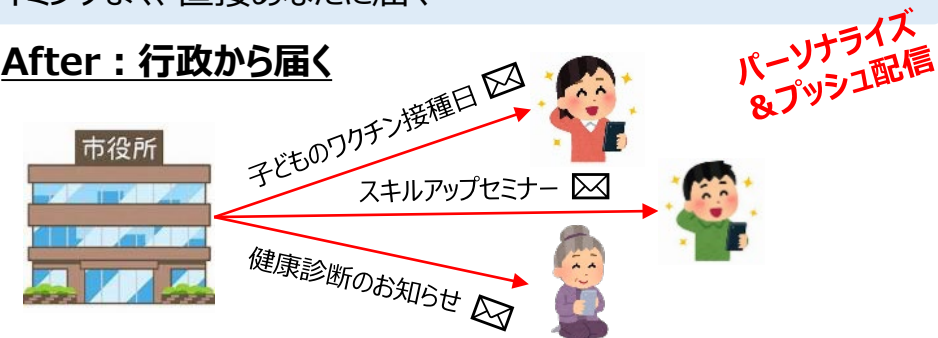
**1) 探さない情報** → 行政から必要な情報が、タイミングよく、直接あなたに届く

**Before : 自分で探す**



- 自分で探さなくちゃ
- 探しても見つからない
- 期限が過ぎている

**After : 行政から届く**

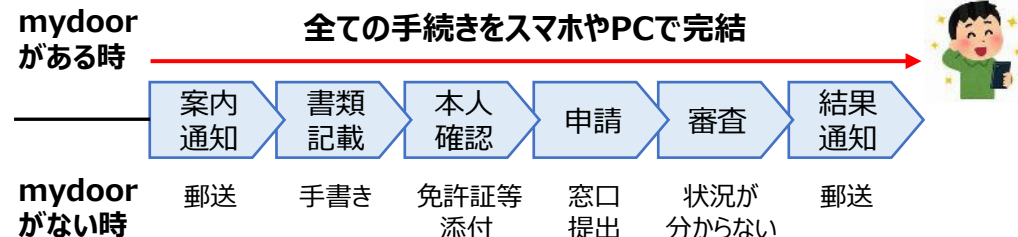


**2) 行かない役所** → 煩雑だった行政手続きが、オンラインでワンストップ化

**Before : 窓口で手続**

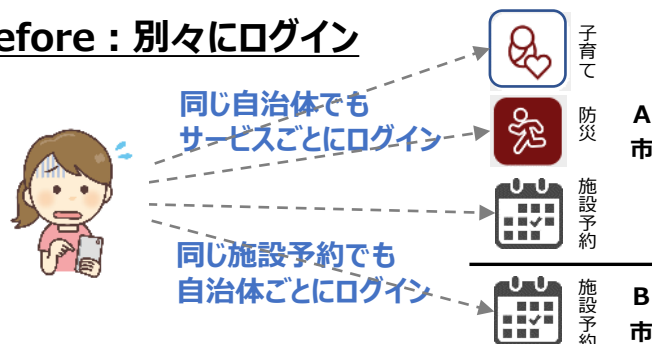


**After : オンラインで完結**



**3) 繋がるサービス** → 複数のデジタルサービスに、1回のログイン（ID・PW入力）で簡単に繋がる

**Before : 別々にログイン**



**After : 1回のログイン**

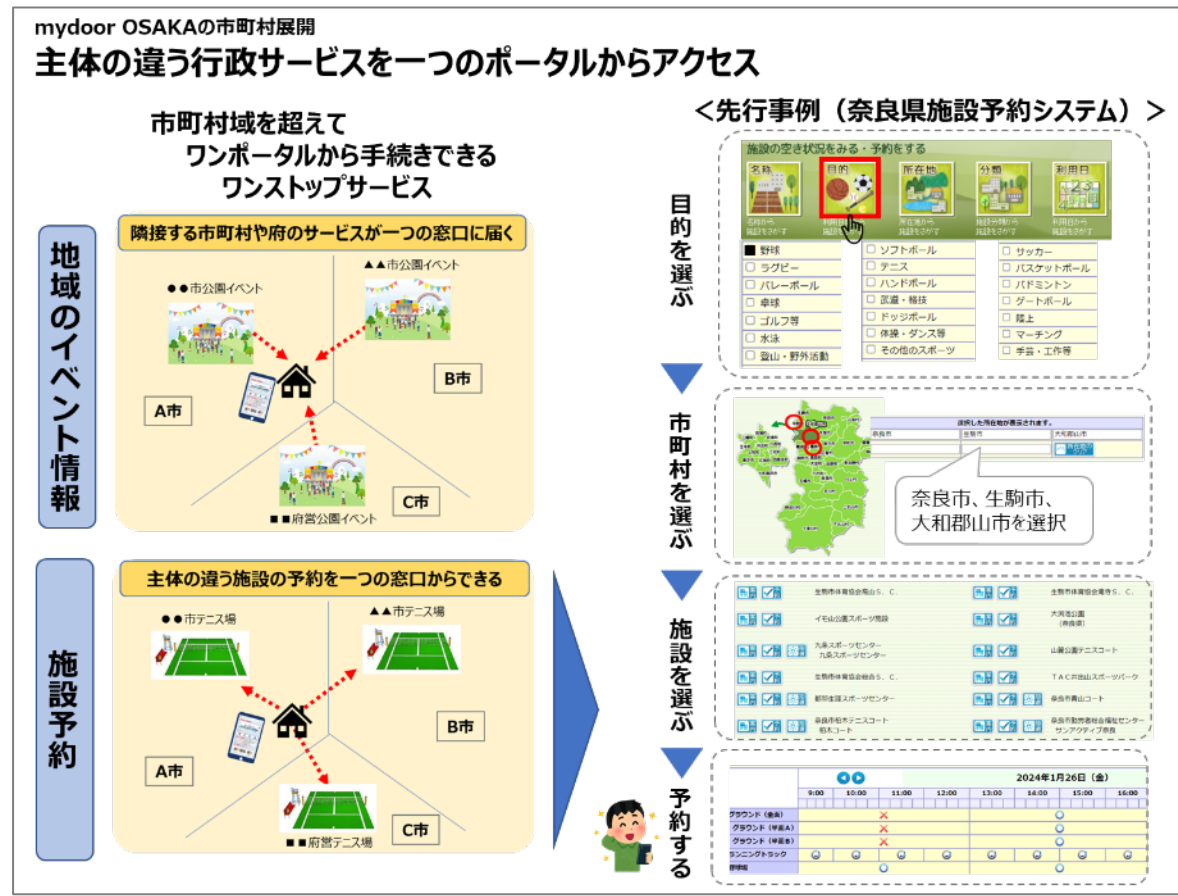


スマホ版の画面イメージ

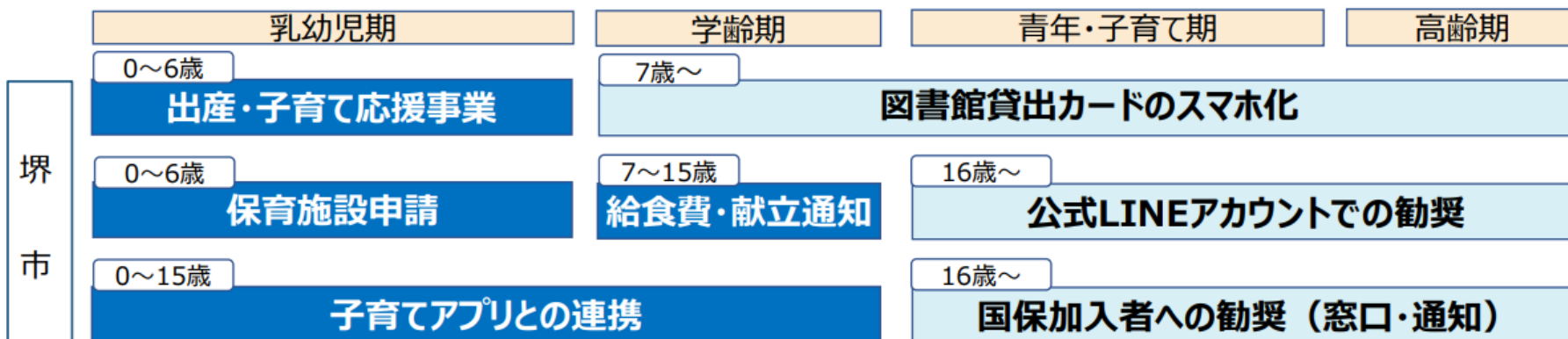


➡ 880万人府民のQOLを面的に向上

➡ 広域による（市町村域を超えた）による  
ワンストップ・ワンスオンリーの実現



## 子育て層を中心に、タッチポイント（入口）となる行政手続きからスタート 提供サービスを拡充し、市と府の様々なサービスでQOLの向上を期待

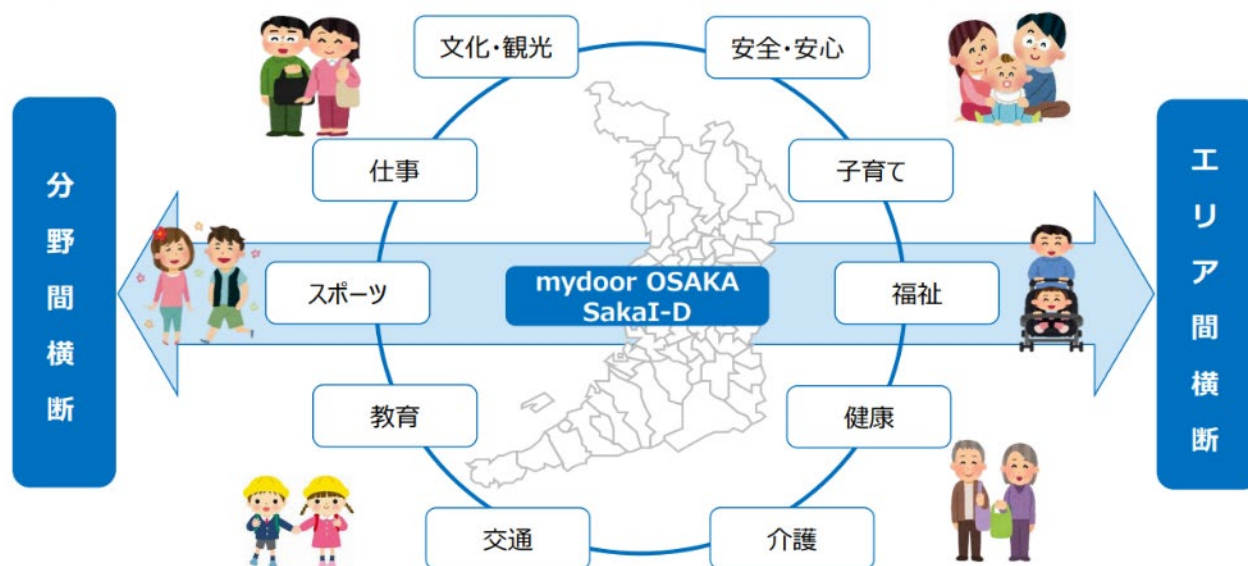


<凡例>

■ 開始時実装予定

□ 今後実装検討

分野とエリアを横断し、公民のサービスを必要な時に逃すことなく利用できる



# 1 (3). モビリティ

## 夢洲コンストラクション（交通量予測システム）

AI交通量予測モデルを活用し、通行可能台数の最大化を図ることで万博工事の円滑化をめざす

### 課題

夢洲において万博建設工事以降も継続的に開発が行われることから、多数の工事車両の運行が見込まれるが、工事現場への到達ルートは大きく2つしかなく、大規模な混雑による工事の遅延や近隣住民の生活への影響の可能性がある

### 解決策

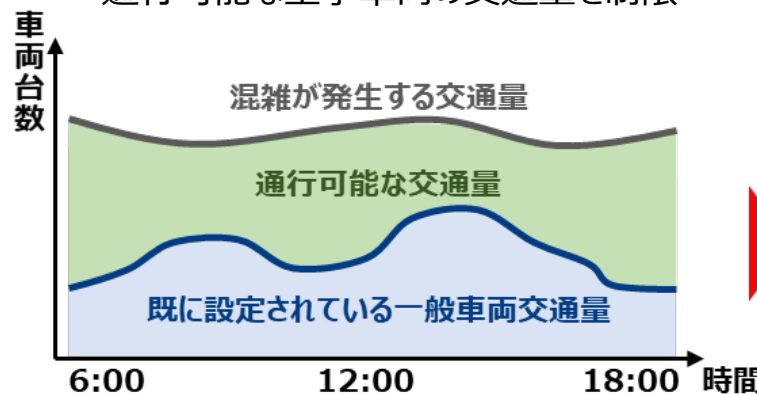
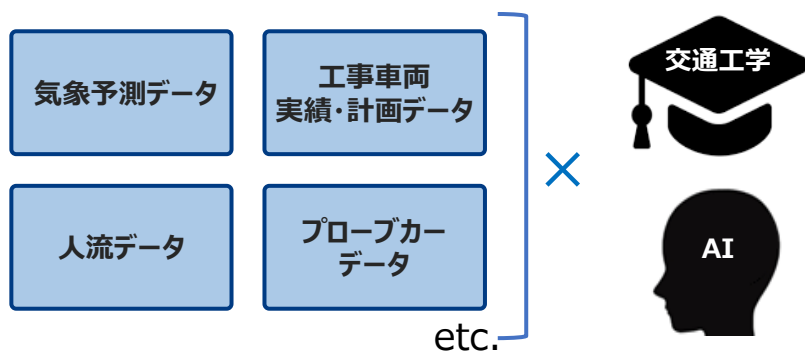
ORDENでのデータ連携を通じたAI交通量予測を実施することで、交通混雑の抑制及び万博工事の着実な推進を目指す



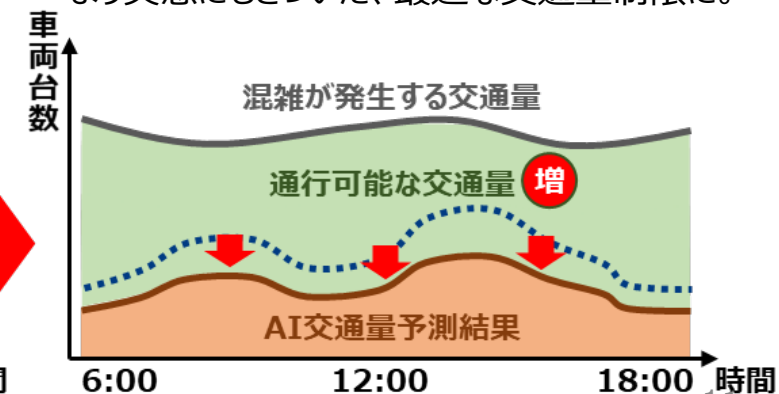
AI交通量予測モデルを活用し、  
夢洲エリアにおける通行可能台数を予測

通行可能台数をもとに万博工事の工事車両  
計画を作成

一般車両交通量予測をもとに、  
通行可能な工事車両の交通量を制限



本システムを導入することで、予測精度を高め、  
より実態にもとづいた、最適な交通量制限に。

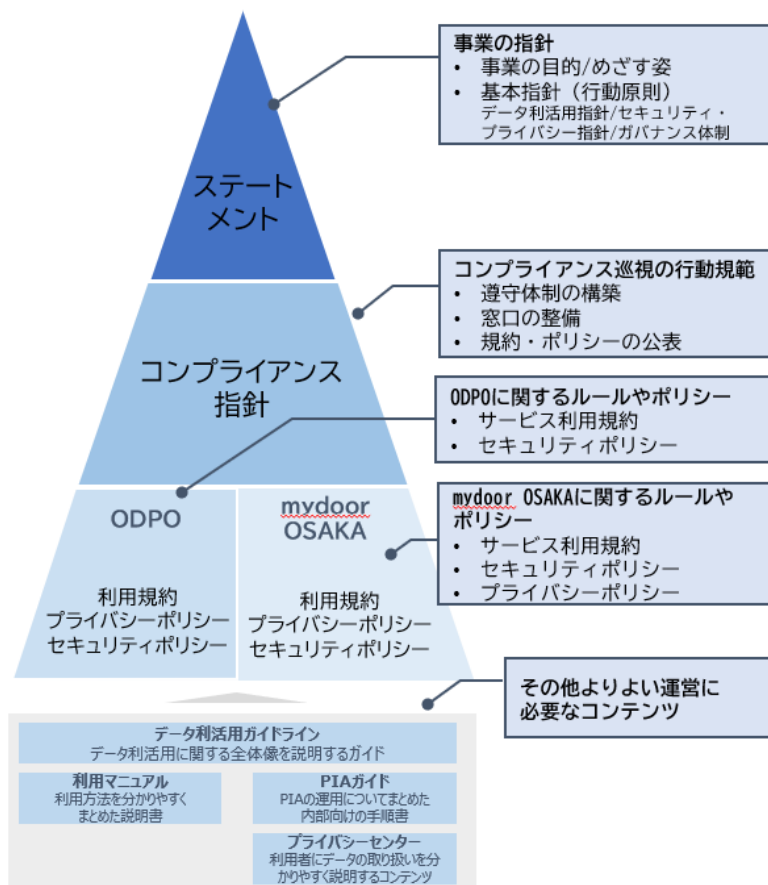


## 2. ガバナンス（制度・運用）

## ガバナンス整備の全体像

### 守るべきルール

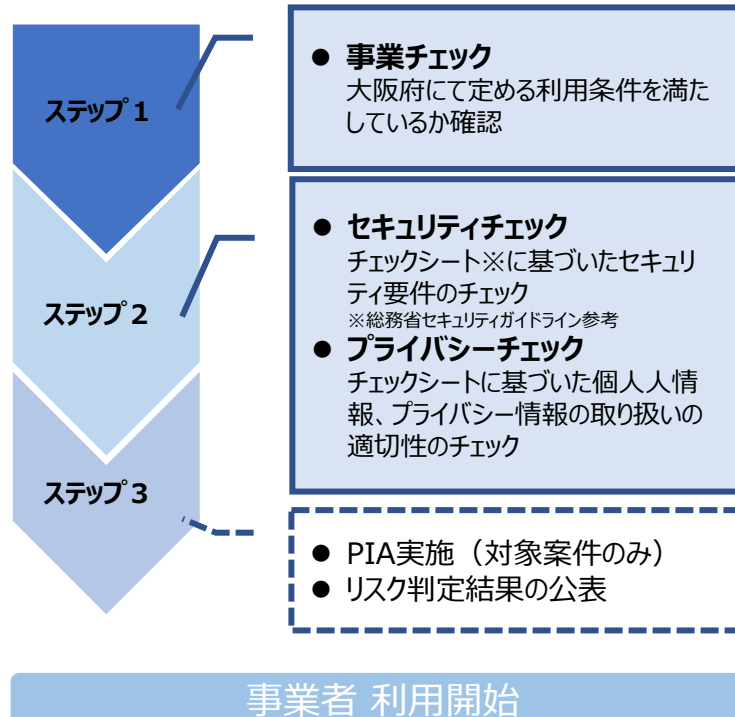
ORDENにおいて守るべきルールを体系化。  
事業の指針に基づき、「コンプライアンスへの対応」「サービス利用に関するルール」「運営を円滑にするコンテンツ」等を整備し、  
安心安全な運営を実現する制度設計を実現。



### 安全を維持する仕組み

ORDENを利用する事業者も含めたルールを守る仕組みを構築。  
ORDENを利用する事業者は安心安全を脅かすことがないか基準を設け審査することで、安全性を担保。

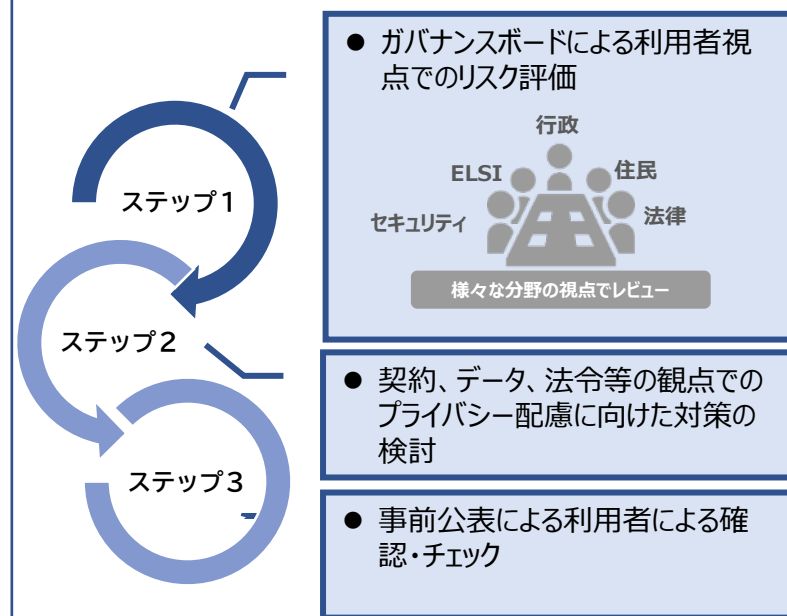
#### 事業者がORDENを利用するまでにかかるフローの構築



### リスクを低減する仕組み

ORDENの利用者（住民）のリスクを低減する仕組みを構築。  
新たなサービス提供やサービス連携をする際には、有識者（ガバナンスボード）を含めてリスク評価を行い、リスクの低減を図ることで利用者が安心してサービスを利用することが可能。

#### サービス提供やサービス連携する際のフローの構築（個人情報やプライバシー情報取扱い時のみ）





# 3. 共用化

## データ連携基盤の共用化を検討する背景

「データ整備基盤は、都道府県に一つ」  
という国の新しい方針

既に半分以上の都道府県が、データ整備基盤を整備または整備予定している

都道府県によって、データ連携基盤に関する状況（ケース）は千差万別

いち都道府県でデータ連携基盤を開発・運用するのはコストや負担が大きい  
市町村との連携スキームを考える必要がある

データ連携基盤の多重化は、利用者にとっては煩雑な接続になってしまい、結果的に利用されないリスク

地域ごとに異なる課題を共有し、①都道府県内市町村や、②都道府県間における共同利用の最適解を模索

### データ連携基盤の共同利用

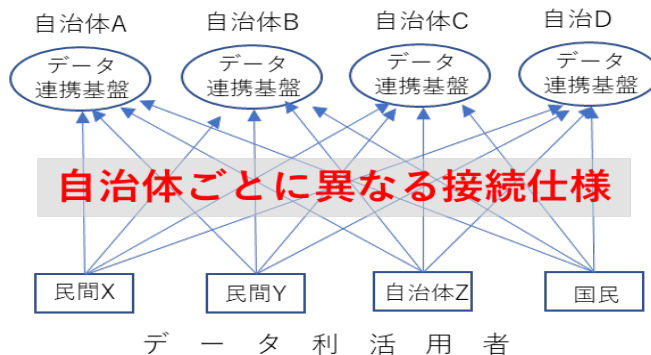
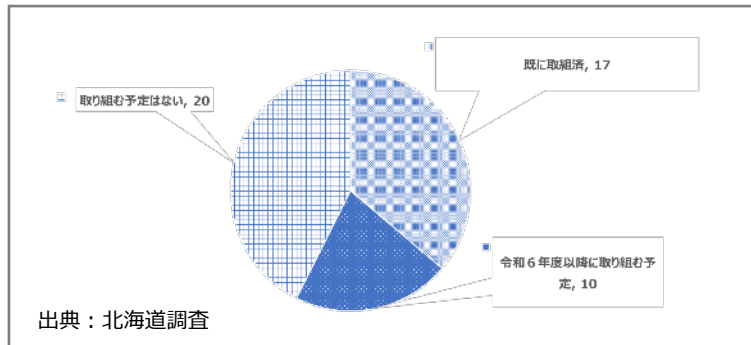
#### ●データ連携基盤に関する今後の方針について

- (1) 分野別にデータ連携基盤は、原則、各都道府県で1つに限る（※1）
- (2) 分野間のデータ連携基盤は、各都道府県で1つに限る
- (3) これらは原則、カタログ（※2）が推奨するデータ連携基盤技術から採用する

（※1）特定分野におけるデータの扱い等の特性上、別建てにすることが有益な場合に限り、特定分野に特化したデータ連携基盤は原則、各都道府県で1つに絞る（例：主に医療に分野に特化など）

（※2）「デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムカタログ」について、令和6年1月目途にデータ連携基盤に関して更新予定（1月11日より公募開始）

出典：デジ田交付金（デジタル実装タイプ）TYPE2/3事業におけるデータ連携基盤の取り扱いについて -都道府県担当者向け説明会 資料（令和6年1月15日）



#### <ケースA>

データ連携基盤を都道府県で既に運用している団体

#### <ケースB>

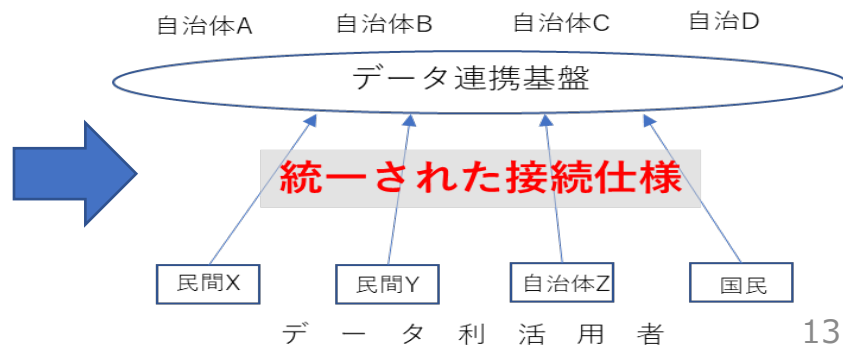
データ連携基盤は市町村が中心に整備している団体

#### <ケースC>

データ連携基盤については、これから検討を始める団体

もし共同利用が可能になれば

①利用者の接続が促進され、②割り勘効果でコストを抑え、③共通的な運用で楽になる



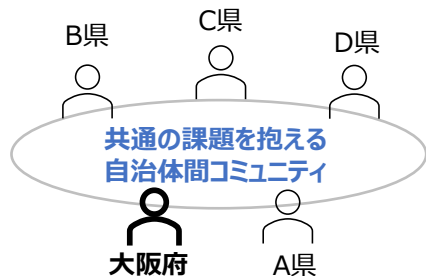


データ連携基盤の「共用化」に向け、共通の課題を抱える自治体間のコミュニティで知見を共有、実務的な課題解決やメリット・ユースケースの具体化を目指す

## 研究会の背景と運営方針等

- **データ連携基盤の実装・利活用の一層促進**のためには、サービスの磨き上げや地域内外の関係者の巻き込みにとどまらず、**コスト合理化やユースケース拡大といった観点から**、各自治体がそれぞれ基盤を整備するのではなく、**複数の自治体で「共用化」を進めることが効果的**。
- こうした背景のもと、デジタル田園都市国家構想における**政府の方針**としても、**都道府県が中心となって地域におけるデータ連携基盤の共同利用を進める**ことが打ち出され、全国で検討が開始。この点、大阪府では構想段階から、「広域データ連携基盤」として**府内市町村の「共用化」を進める**とともに、**更なる効果創出のため、都道府県“間”での「共用化」**も見据えた検討を進めてきた。
- 一方で、全国的にも「共用化」の先行事例は少なく、「共用化」の推進に向けては、**ガバナンスや費用分担等の実務的な課題**が多く存在するほか、その**メリットやユースケースの更なる具体化**が必要。
- 今般、データ連携基盤の「共用化」に向けて、**共通の課題を抱える自治体間の双方向コミュニティ**として本研究会を立ち上げ、知見を共有し、課題解決に向けた議論・検討を進めることで、**各地域での効果的な課題解決と「共用化」による効果創出の加速化**を図ることを目指す。

知見の共有・双方向の討議を通じ、課題の早期解決と効果創出の加速化を図る



これまでの検討を活かしつつ、**共用化の検討・先行実践**  
 ▶ 都道府県間での共用化  
 ・ 連携先の県内共用化  
 ▶ 府内自治体での共用化

【参考】本研究会の検討スコープ・関連用語の定義

|              | 政府方針<br>(R6共同利用ビジョンの策定等) | 本研究会                              |
|--------------|--------------------------|-----------------------------------|
| 都道府県間<br>共用化 | (現状では特段示していない)           | ◎                                 |
| 都道府県内<br>共用化 | ◎                        | (主な議論の対象ではないが、共通する論点については成果を活用可能) |
| 共用化          | 共同利用                     | 複数自治体間で同一のデータ連携基盤を利用              |
|              | 相互利用                     | 複数自治体のデータ連携基盤がAPI等を介して相互に接続       |

## 共同利用のイメージ

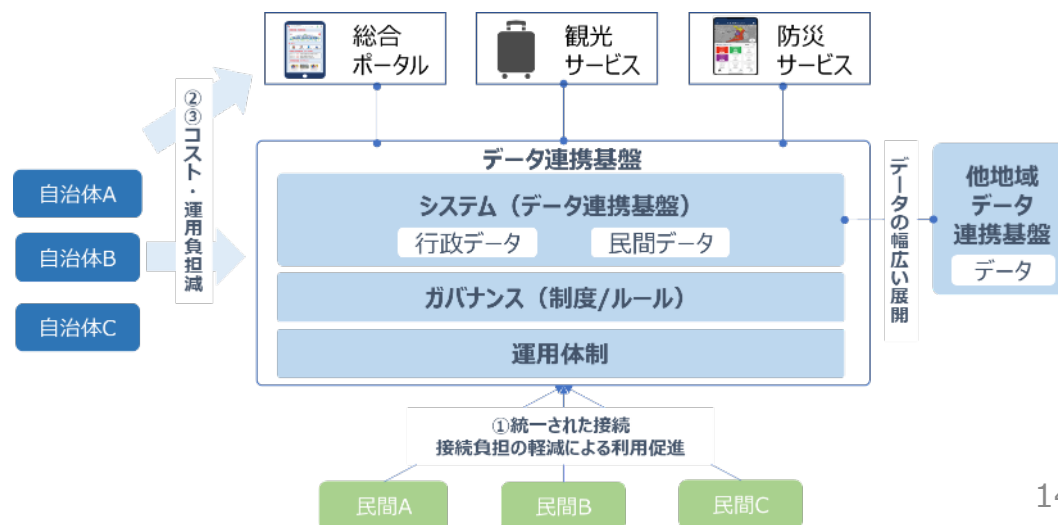
共同利用が実現されると、

- ① 利用者の接続が促進され、
- ② 割り勘効果でコストを抑え、
- ③ 共通的な運用で楽になる。

⇒システム（基盤）だけでなくガバナンス・運用体制・サービス等も共同利用できる。

6月24日に第1回研究会を開催（大阪府を含め39団体が参加）

【参加団体】北海道、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



ご清聴ありがとうございました

